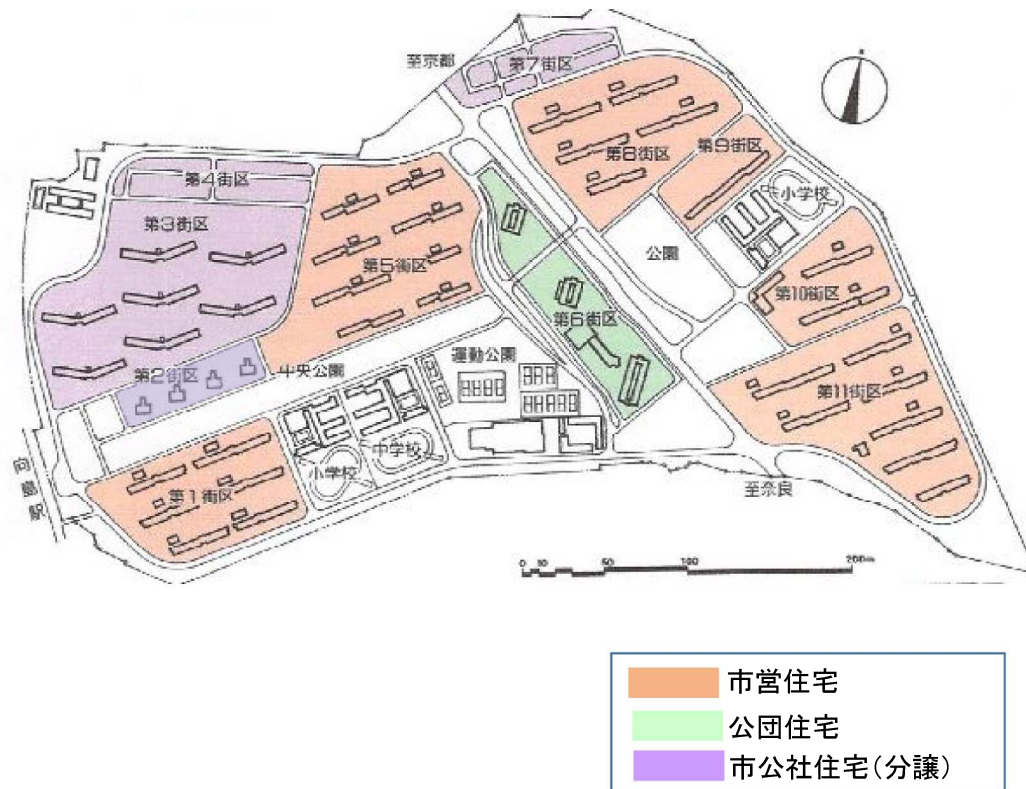


向島ニュータウン 団地概要・住宅概要

資料 4



(団地の概要)

	完成時	現状(※1)
面積	74.7 ha	
戸数	6,799戸	5,966戸
人口	約22,500人	13,660人

(※1) 平成22年国勢調査における学区計から算定

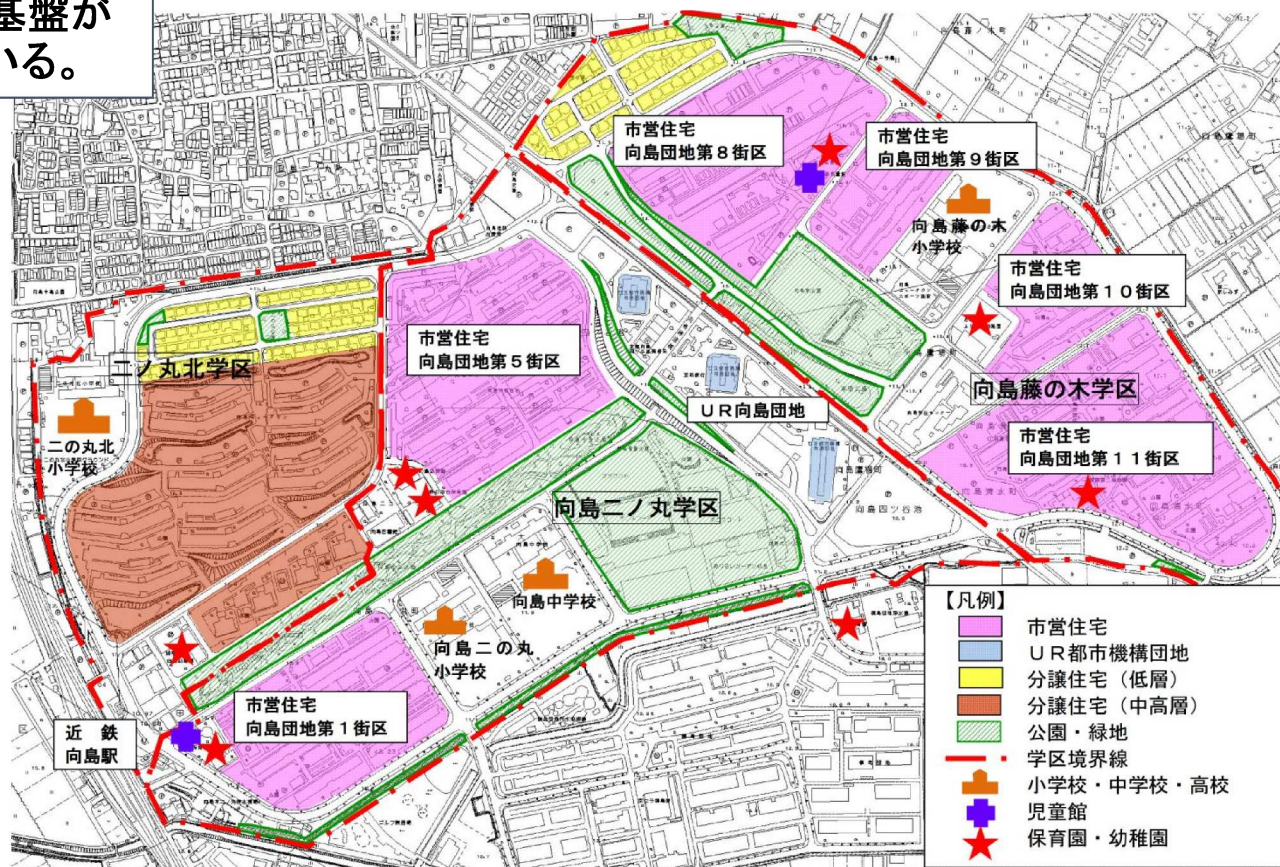
(公的賃貸住宅の概要)

	完成時	現在の 管理戸数(※2)
市営住宅	4,257戸	4,257戸
公団住宅	624戸	624戸

(※2) 平成27年4月時点

向島ニュータウン 現況

道路や公園・緑地
などの都市基盤が
整備されている。

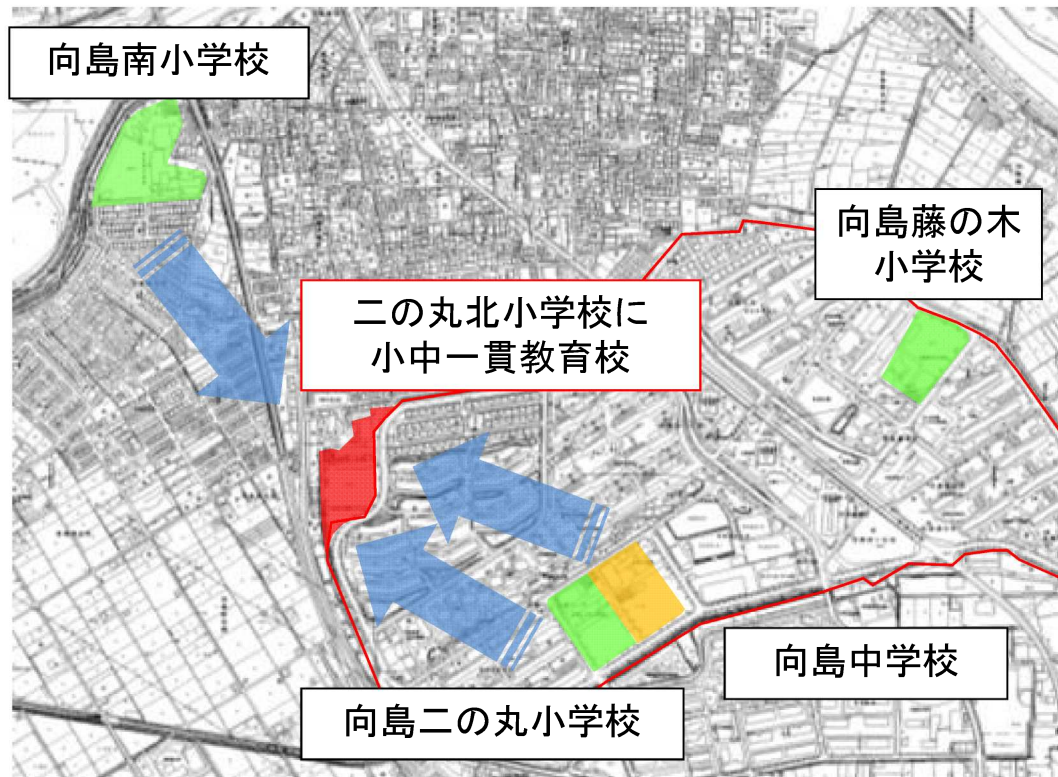


市営住宅, UR都市機構団地
のほか, 分譲住宅(低層, 中
高層)が立地している。

小学校, 中学校, 高校のほか, 保育園, 幼稚園,
児童館といった教育・福祉施設や, 図書館
等の公共施設が総合的に整備されている。

向島ニュータウン 周辺小中学校の状況

- 向島南・向島二の丸・二の丸北小学校の統合校と向島中学校を一体化した小中一貫教育校の新設を求める地元からの要望書(平成26年7月提出)を踏まえ、現二の丸北小学校敷地に新校舎を整備する計画が進められている。

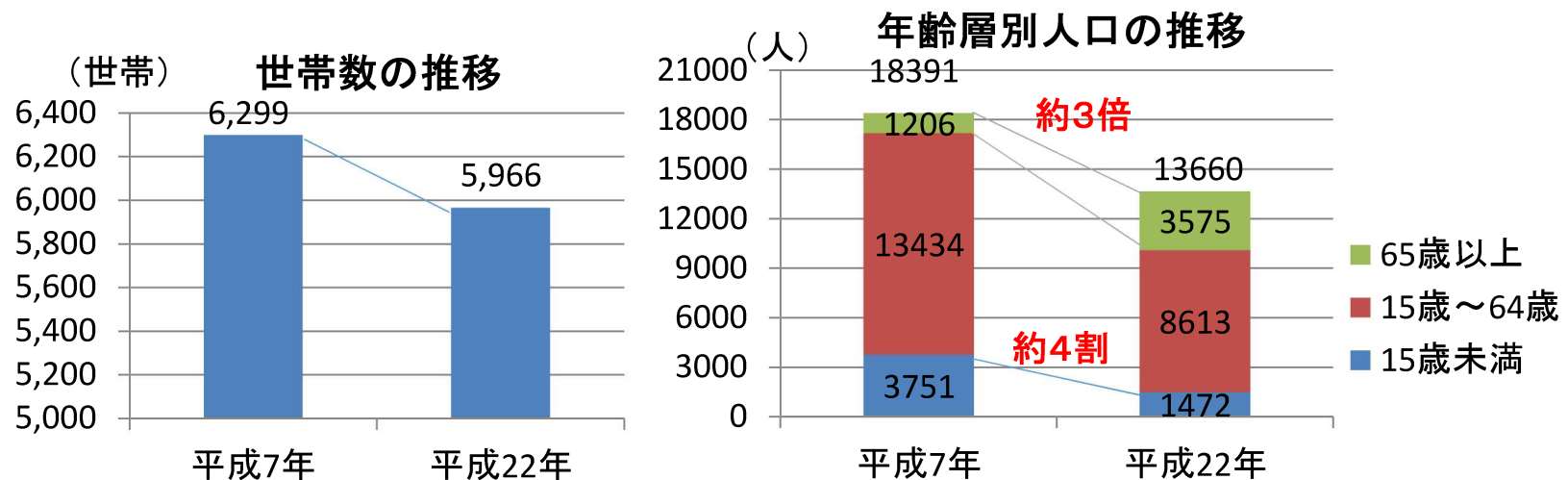


(児童数の推移)

	昭和61年	平成26年
向島南小学校	876人	399人
二の丸北小学校	605人	76人
向島二の丸小学校	1, 177人	202人
向島藤の木小学校	562人	386人
合 計	3, 220人	1, 063人

向島ニュータウン 人口・世帯数推移

- 向島ニュータウン内の学区では、平成7年と平成22年を比較した場合、世帯数が減少している。
- また、高齢者(65歳以上)の数は約3倍に増加、若者(15歳未満)の数は約4割に低下している。
- 市営住宅では、約600戸の空き家が発生している。
- 市営住宅における外国籍入居者が、全体の8%の割合を占めている。



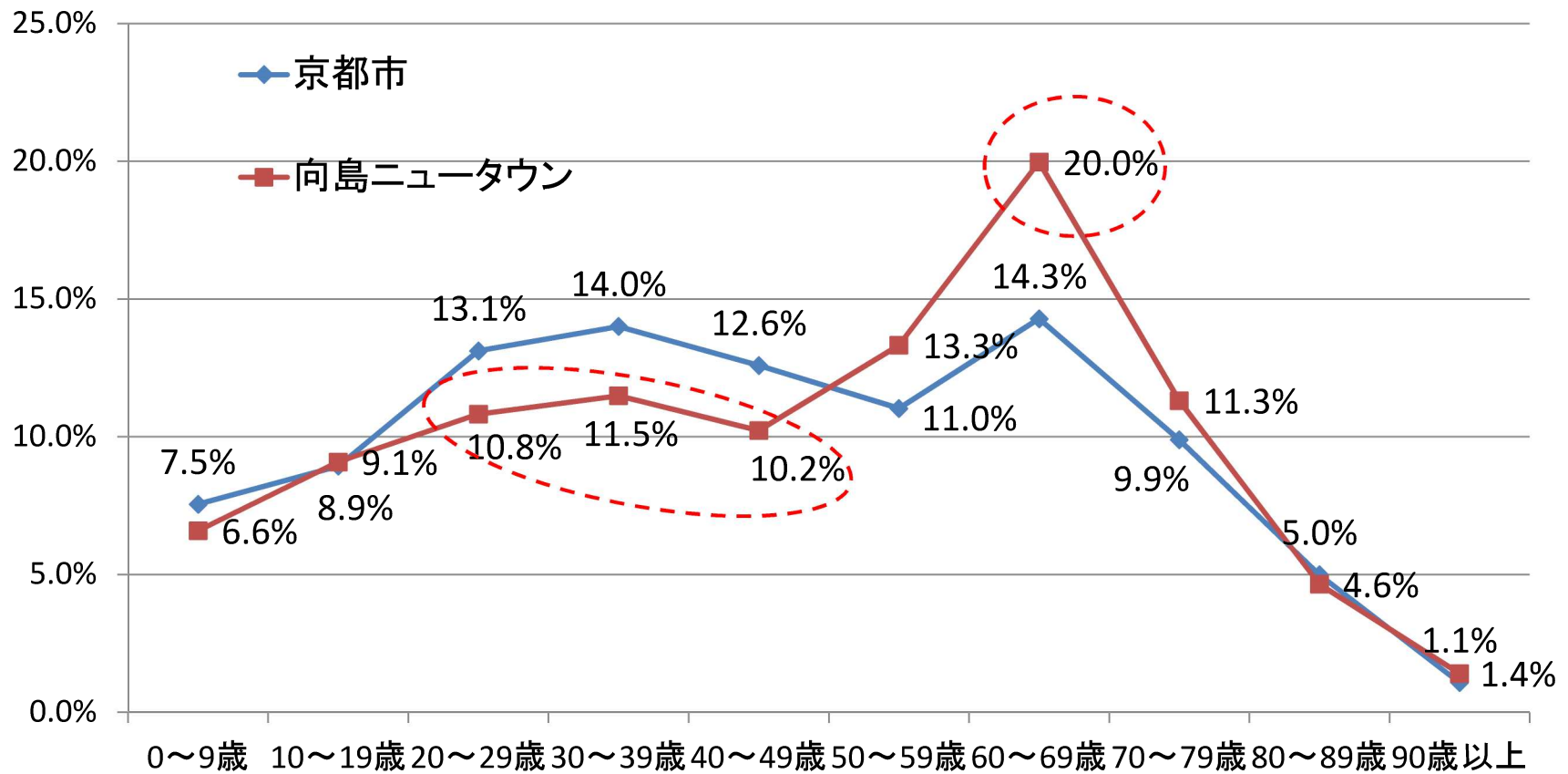
公的賃貸住宅の空き住戸の状況 (平成27年4月時点)

	管理戸数	空き住戸数	空き家率
市営住宅	4,257	574	14%
UR賃貸住宅	624	約50	5～10%

(資料) 平成7年及び平成22年国勢調査よりそれぞれ作成

向島ニュータウン 5歳階級別 人口割合

○ 近年では、高齢化が進行しており、市全体と比較して、60～69歳の割合が高い一方で、20～49歳までの割合が低い状況である。



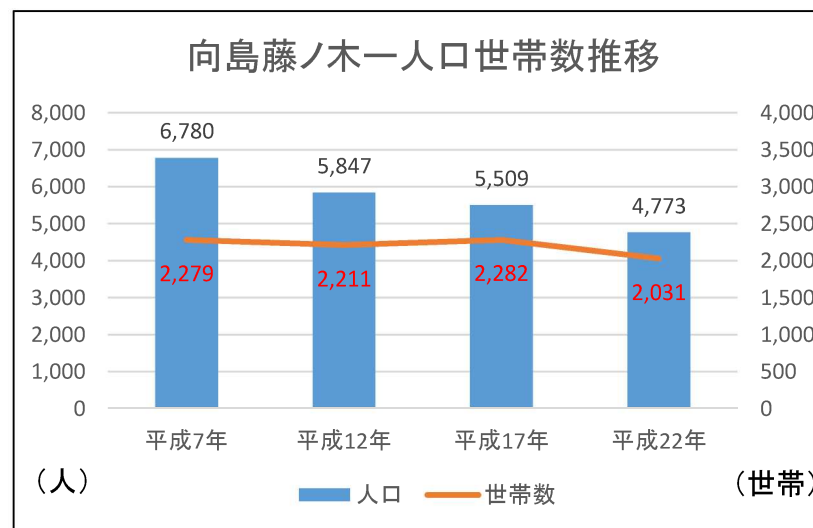
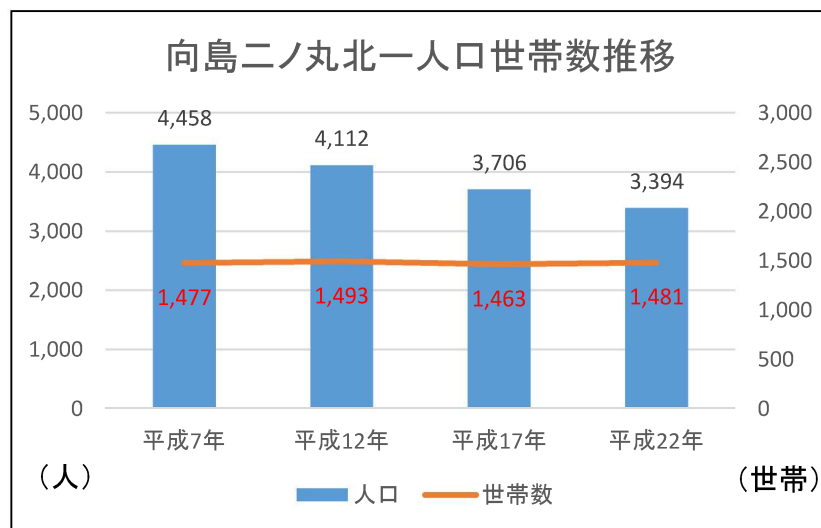
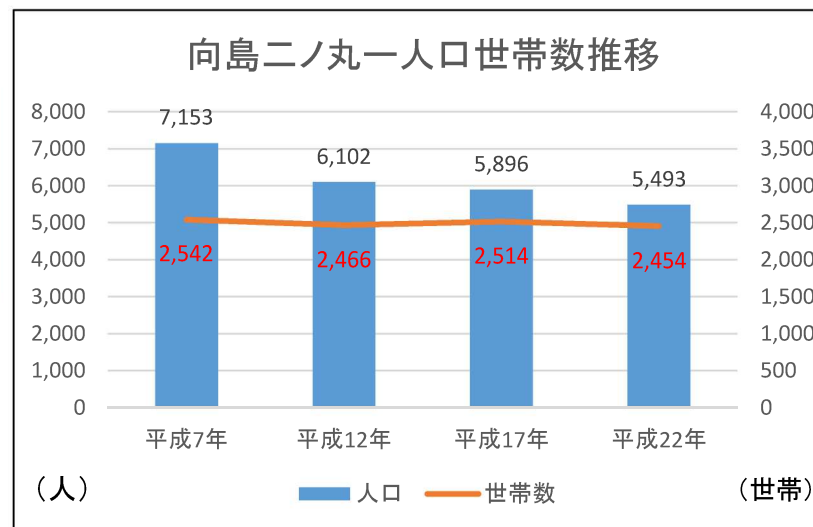
資料:平成22年国勢調査

向島ニュータウン 学区別状況(向島二ノ丸, 向島二ノ丸北, 向島藤ノ木)

人口動向

【二ノ丸】人口が約25%減, 世帯数は微減。
 【二ノ丸北】人口が約25%減, 世帯数は横ばい
 【藤ノ木】人口が約30%減, 世帯数は約10%減
 ※いずれも平成7年から平成22年の推移

資料: 各年国勢調査(京都市独自集計)



向島ニュータウン 学区別状況(向島二ノ丸, 向島二ノ丸北, 向島藤ノ木)

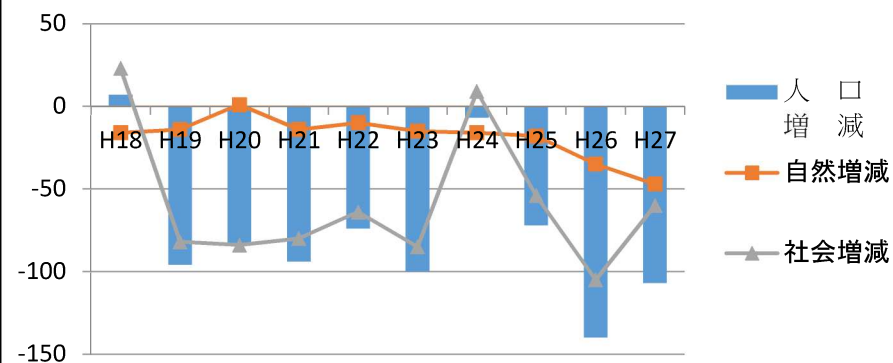
人口動態

○いずれの学区においても社会減, 自然減が継続的に(※)が続いており, 高齢化から今後さらに自然減が大きくなり, 人口減少がすすむことが想定される。

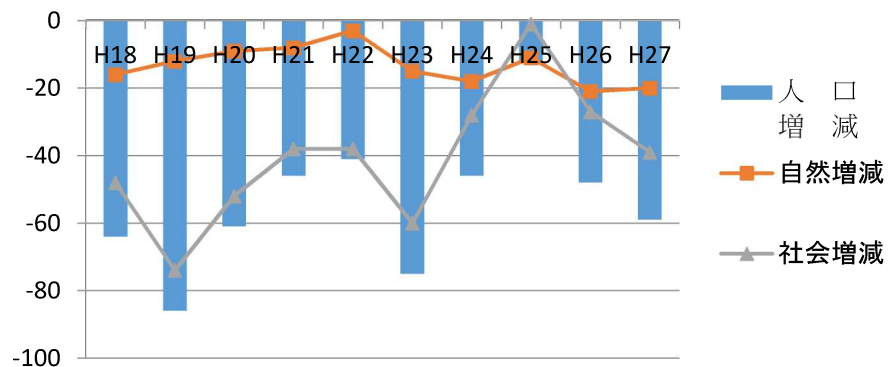
※平成23年～25年にかけての社会増は東日本大震災による避難者向け住宅の提供が要因と考えられる。

資料: 各年国勢調査(京都市独自集計)

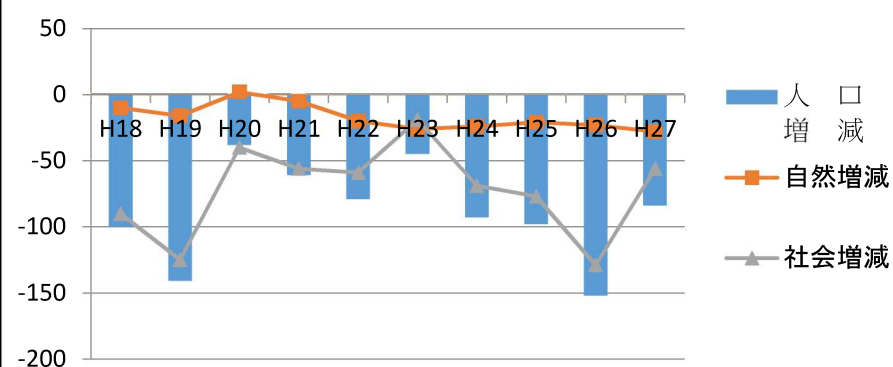
向島二ノ丸一人口動態の推移



向島二ノ丸北一人口動態の推移



向島藤ノ木一人口動態の推移



向島ニュータウン 学区別状況(向島二ノ丸, 向島二ノ丸北, 向島藤ノ木)

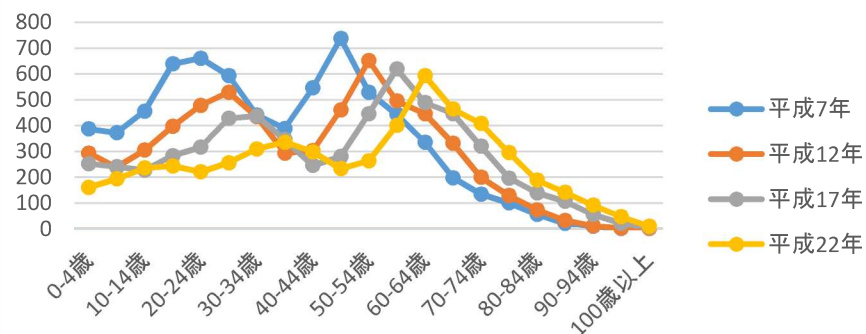
5歳階級別人口の推移

○各学区とも, 若年層の世帯分離による人口減少と少子化が進み, 団塊の世代等の加齢に伴う高齢化が進んでいる。

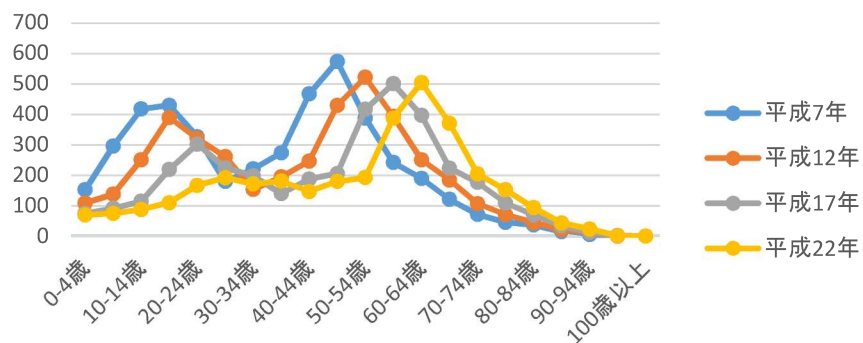
○藤ノ木学区については, 団塊の世代の人口の山が他の学区よりも低く高齢化率が低い特徴がある。

資料: 各年国勢調査(京都市独自集計)

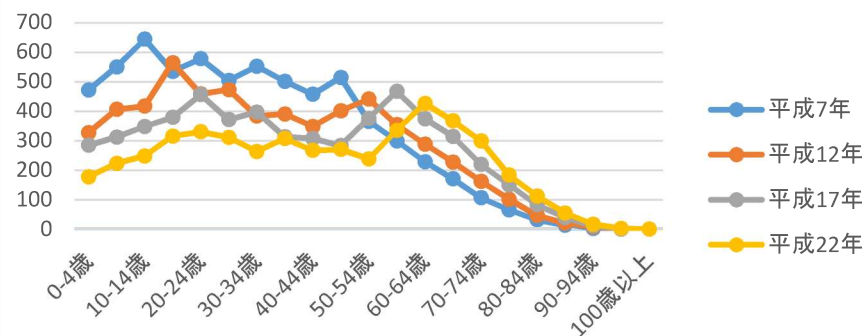
向島二ノ丸一年齢5歳階級別人口の推移



向島二ノ丸北一年齢5歳階級別人口の推移



向島藤ノ木一年齢5歳階級別人口の推移



向島ニュータウン 学区別状況(向島二ノ丸, 向島二ノ丸北, 向島藤ノ木)

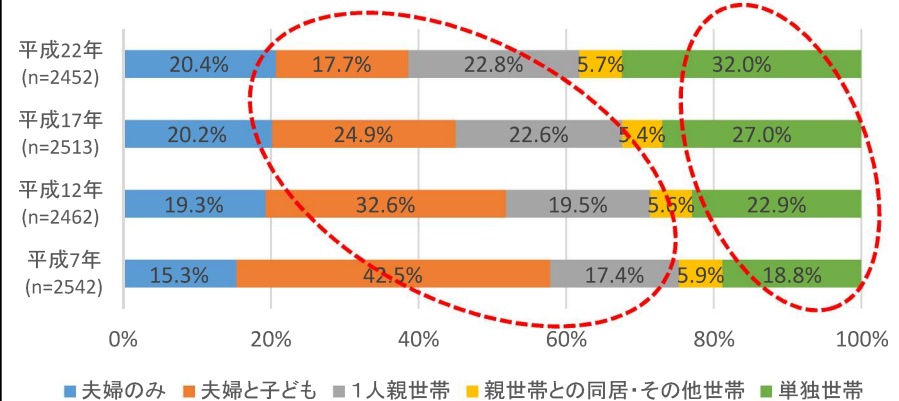
家族構成別世帯数・割合(向島二ノ丸, 向島二ノ丸北)

資料: 各年国勢調査(京都市独自集計)

○夫婦子ども世帯が急激に減少, ひとり親世帯と単身世帯が増加。

向島二ノ丸 (世帯数)	一般世帯 総数	夫婦 のみ	夫婦と 子ども	1人親 世帯	親世帯と の同居・ その他世 帯	単独 世帯
平成7年 (n=2542)	2,542	390	1,081	443	150	478
平成12年 (n=2462)	2,462	475	802	481	139	565
平成17年 (n=2513)	2,513	507	625	567	136	678
平成22年 (n=2452)	2,452	500	434	560	140	784

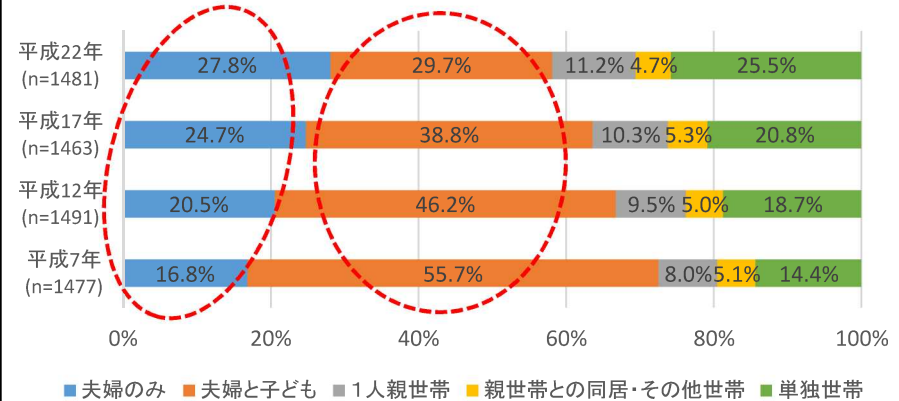
向島二ノ丸一家族構成別世帯数の推移



○夫婦子ども世帯が急激に減少, 夫婦のみ世帯, 単身世帯が増加。

向島二ノ丸北 (世帯数)	一般世帯 総数	夫婦 のみ	夫婦と 子ども	1人親 世帯	親世帯と の同居・ その他世 帯	単独 世帯
平成7年 (n=1477)	1,477	248	823	118	76	212
平成12年 (n=1491)	1,491	306	689	142	75	279
平成17年 (n=1463)	1,463	362	568	150	78	305
平成22年 (n=1481)	1,481	412	440	166	70	378

向島二ノ丸北一家族構成別世帯数の推移



向島ニュータウン 学区別状況(向島二ノ丸, 向島二ノ丸北, 向島藤ノ木)

家族構成別世帯数・割合(向島藤ノ木, 京都市)

資料: 各年国勢調査(京都市独自集計)

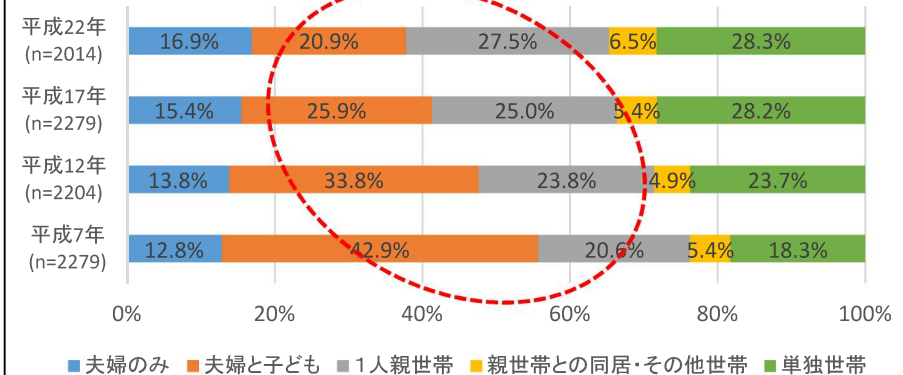
○夫婦子ども世帯が急激に減少, ひとり親世帯と単身世帯が増加。

向島藤ノ木 (世帯数)	一般世帯 総数	夫婦 のみ	夫婦と 子ども	1人親 世帯	親世帯と の同居・ その他世 帯	単独 世帯
平成7年 (n=2279)	2,279	292	977	470	123	417
平成12年 (n=2204)	2,204	304	746	524	107	523
平成17年 (n=2279)	2,279	352	590	570	124	643
平成22年 (n=2014)	2,014	340	421	554	130	569

○京都市全体と比較すると, 二ノ丸学区と藤ノ木学区は特にひとり親世帯の割合が約15~20%多い。

参考:京都市 (世帯数)	一般世帯 総数	夫婦 のみ	夫婦と 子ども	1人親 世帯	親世帯と の同居・ その他世 帯	単独 世帯
平成7年 (n=579,369)	579,369	90,421	181,651	42,025	59,538	205,734
平成12年 (n=610,665)	610,665	102,833	176,057	47,173	55,322	229,280
平成17年 (n=641,455)	641,455	110,679	168,905	53,575	52,234	256,062
平成22年 (n=680,634)	680,634	115,678	163,450	57,790	49,142	292,123

向島藤ノ木一家族構成別世帯数の推移



参考:京都市一家族構成別世帯数の推移

